

まちづくり月間関連四行事受賞者等について

- (1) まち交大賞
- (2) まちづくり標語懸賞募集
- (3) 住まいのまちなみコンクール
- (4) まちの活性化・都市デザイン競技

第2回 まち交大賞

1. まち交大賞について

まち交大賞は、都市再生整備計画において、まちづくりを推進するための優れたテーマの設定、提案事業を活用した画期的なまちづくりのアイデア、住民の意向の反映や参加の誘導などの計画策定のプロセスの3つの観点から、優良な計画が策定された地区を対象として表彰し、関係者の榮譽をたたえるとともに、受賞地区の事例を全国に幅広く紹介することで、今後まちづくり交付金を活用したまちづくりが一層推進することを目的として実施するものである。

2. 主催・後援

主催：まちづくり交付金情報交流協議会、(財)都市みらい推進機構、
まちづくり月間実行委員会
後援：国土交通省

3. 事業実施経緯

各地方整備局等における代表地区の選出を行う地方大会を実施し、地方大会の代表地区から全国の大賞受賞地区を選定する全国大会を実施する。

【候補地区】平成16、17、18年度まちづくり交付金採択地区(平成17年度まち交大賞受賞地区は除く)

【地方大会】募集：平成18年11月～
地方審査会：平成18年12月～平成19年2月
地方大会表彰：平成19年2月～3月(各地方まちづくりシンポジウム)

【全国大会】全国審査会：平成19年5月15日
発表：平成19年6月(まちづくり月間)

4. 審査委員

委員長	高橋 洋	日本大学 総合科学研究所 教授
委員	浅田 義久	日本大学 経済学部 教授
	今井 晴彦	(株)アルメック技術顧問
	西郷真理子	(株)まちづくりカンパニーシーブネットワーク代表
	望月 明彦	国土交通省都市・地域整備局まちづくり推進課都市総合事業推進室長
	橋本 公博	国土交通省住宅局市街地建築課市街地住宅整備室長
	佐々木 健	(財)都市みらい推進機構専務理事
	梅岡伸一郎	まちづくり交付金情報交流協議会企画運営委員会委員長 (松山市総合政策部坂の上の雲まちづくり担当 企画官)

まち交大賞 審査結果

【総合賞】

賞	地区名	受賞者	地方大会
計画大賞 (国土交通大臣賞)	長岡市中心市街地地区	新潟県長岡市	北陸
創意工夫大賞 (まちづくり交付金情報 交流協議会会長賞)	鉄輪温泉地区	大分県別府市	九州
創意工夫大賞 (都市みらい推進機構 理事長賞)	善光寺表参道地区	長野県長野市	関東

【部門賞】

賞	地区名	受賞者	地方大会
テーマ賞	飯坂地区	福島県福島市	東北
	焼津南東地区	静岡県焼津市	中部
	宝塚中心市街地地区	兵庫県宝塚市	近畿
アイデア賞	瀬戸やきもの交流地区	愛知県瀬戸市	中部
	山梨市中央地区	山梨県山梨市	関東
プロセス賞	世界遺産「日光の社寺」及び門前町地区	栃木県日光市	関東
	倉吉打吹地区	鳥取県倉吉市	中国
	宇多津地区	香川県宇多津町	四国

第 24 回 まちづくり標語懸賞募集

1. まちづくり標語懸賞募集について

まちづくり標語懸賞募集は、まちの主人公である住民自身と自治体が共同しながら愛着と誇りのもてる「わがまち」をつくっていくための合言葉を募るもので、平成 18 年度は 5,323 通（一般の部 3,082 通、児童・生徒の部 2,241 通）の応募がありました。

なお、優秀作品については、第 25 回まちづくり月間のポスター等に用いられます。

2. 第 24 回まちづくり標語募集の課題

「つなぐ・つなげるまちづくり」

今、我が国が人口減少・超高齢社会を迎える中で、都市の拡大成長を前提としたこれまでのまちづくりから、まちなかの既存ストックを有効活用しつつ、高齢者も含めた多くの人にとって暮らしやすいコンパクトな都市構造、「歩いて暮らせるまちづくり」へと、基本理念を転換する時期に来ています。このような中では、地域の人たちが、まちのあるべき姿を考え、ビジョンを互いに共有し、連携して、まちをつくっていくことが求められています。それはまさに、人と人、コミュニティとコミュニティ、といった横の関係を“つなぐ”ことです。また、まちを支え、形づくっている都市基盤施設や建築物等について、そのまちに固有の歴史や文化と同じように、まちの大切な財産として受け継ぎ、より一層良いものへと育み、世代から世代へ“つなげていく”こと、つまり、まちを適切に整備・保全し、維持・管理することによって次世代により良いまちを残していくことが必要です。このようなことから、今回は「つなぐ・つなげるまちづくり」をテーマに合い言葉を募集します。

3. 主催等

主 催 : まちづくり月間実行委員会

後 援 : 国 土 交 通 省

4. スケジュール

募 集 : 平成 18 年 10 月 15 日～平成 19 年 2 月 15 日

選 考 : 平成 19 年 3 月 19 日（月）

表 彰 : 平成 19 年 6 月（まちづくり月間期間内）

5. 審査委員

委員長 幸田 シャーミン（国際連合広報センター所長）

委 員 藤本 昌也 （建築家）

福田 正博 （コピーライター）

加藤 利男 （国土交通大臣官房審議官（都市・地域整備局担当））

和泉 洋人 （国土交通大臣官房審議官（住宅局担当））

西 建吾 （（財）都市計画協会 専務理事）

【審査結果】

一般の部

賞	作 品	作者氏名	住 所
特 選	あしあとを 残してつなげる 明日のまち	安部 信次	宮城県伊具郡
準特選	横丁の知恵をつなげて 街づくり	夏田 信身	大阪府堺市
入 選	未来へつなく みんなで発掘 まちの良さ	近藤 芳弘	愛知県名古屋市
	まちづくり いい和 愛の輪 大きな環	白瀬 信雄	埼玉県草加市
	過去未来 バトン渡しの まちづくり	小泉 親種	神奈川県鎌倉市

児童・生徒の部

賞	作 品	作者氏名	住 所
特 選	つなげよう まちをゆめごと みらいごと	坂井 泰法	新潟県新潟市
準特選	つなぐ手が まちの元気の 発信地	坂井 百合奈	新潟県新潟市
入 選	子供達 新たな街への鍵となる	川満 健作	沖縄県糸満市
	よきまちを 未来の友へ バトンタッチ	西山 紗生	熊本県菊池市
	がんばろう つなぐつなげるまちづくり	徳永 堯紘	千葉県八千代市

第2回 住まいのまちなみコンクール

1. 住まいのまちなみコンクールについて

身近な住環境は地域の方々によって維持管理され、安全、清掃、緑化、まちなみなどが保たれています。このようなコミュニティ活動が活性化していることは喜ばしいことですが、一方では敷地の細分化による密集化の進行、緑の減少など環境の悪化も見受けられます。今後、ますます住民や住民組織による維持管理活動の進展が望まれています。このような状況を踏まえ、維持管理活動に実績を挙げている住民組織をまちづくりのモデルとして表彰し、支援するものです。

2. 主催・後援

[主 催] まちづくり月間実行委員会、(財)住宅生産振興財団
[後 援] 国土交通省、住宅金融公庫、独立行政法人都市再生機構、
(社)住宅生産団体連合会、(社)日本建築士会連合会、
(社)日本建築士事務所協会連合会、
(財)ハウジングアンドコミュニティ財団

3. 業実施経緯

[応募期間] 平成 18 年 6 月 1 日～平成 18 年 8 月 31 日
[審 査] 第 1 回 平成 18 年 10 月 3 日 第 2 回 平成 18 年 11 月 8 日
[審査委員]
委 員 長 藤本 昌也 (建築家/関東学院大学教授)
委 員 和泉 洋人 (国土交通省大臣官房審議官)
上山 良子 (ランドスケープアーキテクト/長岡造形大学名誉教授)
陣内 秀信 (法政大学教授)
竹内 直文 (国土交通省大臣官房技術審議官)
森 まゆみ (作家・エッセイスト)
森野 美徳 (都市ジャーナリスト) (五十音順/敬称略)
[発 表] 平成 18 年 11 月
[表 彰] 平成 19 年 6 月(まちづくり月間)

4. 審査結果

国土交通大臣賞(1団体)

団体名:三輪緑山管理組合

地区名:三輪緑山住宅(東京都町田市)

住まいのまちなみ優秀賞(1団体)

団体名:山手まちづくり推進会議

地区名:山手町全域(神奈川県横浜市)

住まいのまちなみ賞(3団体)

団体名:オーナーズコート守谷・維持管理組合

地区名:オーナーズコート守谷(茨城県守谷市)

団体名:スウェーデンヒルズビレッジ地区建築協定運営委員会

地区名:スウェーデンヒルズ(北海道石狩郡)

団体名:布佐平和台自治会

地区名:布佐平和台(千葉県我孫子市)

国土交通大臣賞 作品



団体名：三輪緑山管理組合

地区名：三輪緑山住宅（東京都町田市）

第9回 まちの活性化・都市デザイン競技

1. 主 旨

これからのまちづくりにおいては、そこに生活し活動していることの豊かさが実感でき、誇りのもてる優れた景観を備えた環境整備が重要である。現代の活動にふさわしい新たな都市景観の形成には、まちの歴史や環境に配慮しながら、その都市固有の品格を備え洗練された表現と演出が求められ、その魅力が都市に活力を呼び戻し、新たな賑わいを伴って、まち全体が活性化していくことが期待される。こうしたまちづくりの基本的課題を踏まえ、本「まちの活性化・都市デザイン競技」は、地域にふさわしい整備構想とまちのデザインについての提案を広く一般から募り、まちづくりに対する国民の関心を高めるとともに、活力ある美しい景観を備えたまちづくりの実現に寄与することを目的に平成10年度より毎年実施しているものである。

2. 主催・後援

- (1) 主 催 : まちづくり月間実行委員会
(財)都市づくりパブリックデザインセンター
- (2) 後 援 : 国土交通省、兵庫県、姫路市

3. 事業実施経緯

- (1) 応募登録期間 : 平成18年 9月20日(水)～10月27日(金)
- (2) 作品提出期間 : 平成19年 2月13日(火)～2月28日(水)
- (3) 審 査 : 平成19年 4月 4日(水)
- (4) 表 彰 : 平成19年 6月(まちづくり月間期間内)

4. 審査委員

- 委員 長 : 西 村 幸 夫(東京大学教授)
- 委 員 : 石 川 幹 子(慶應義塾大学教授)
- 加 藤 源(都市プランナー)
- 岸 井 隆 幸(日本大学教授)
- 北 山 孝 雄(総合プロデューサー)
- 藤 本 昌 也(建築家・関東学院大学教授)
- 森 野 美 徳(都市ジャーナリスト)
- 松 田 秀 夫(国土交通省都市・地域整備局市街地整備課長)
- 村 橋 正 武(立命館大学教授)
- 石 見 利 勝(姫路市長)
- (順不同)

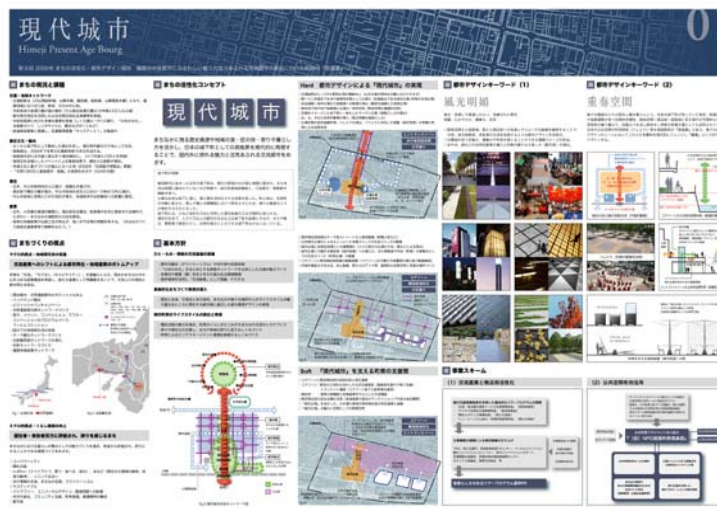
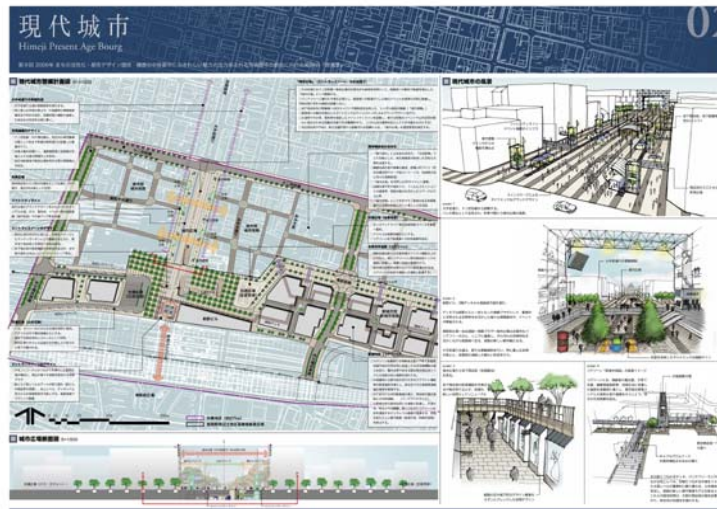
5. 競技課題

兵庫県姫路市における「姫路駅周辺地区」約27 haを課題地区として設定。「播磨の中核都市にふさわしい魅力と活力あふれる交流都市の創出」をテーマに、当該地区の質の高い空間、活力ある拠点形成、美しいまちなみ形成のためのアイデアとデザインについて、様々な発想に基づく提案を求める。

6. 審査結果

- 国土交通大臣賞(1点)
- 森重 和久 他3名(株)ジイケイ設計 大阪事務所)
- まちづくり月間実行委員会会長賞(1点)
- 北 雄介(京都大学大学院 工学研究科建築学専攻)
- (財)都市づくりパブリックデザインセンター会長賞(1点)
- 加藤 潤(ROMA Design Group)
- 奨励賞(3点)
- 前田 伸人 他2名(高知工科大学 工学部社会システム工学科)
- 北川 克典(高知工科大学大学院 社会システム工学コース)
- 馬場 有利恵 他2名(高知工科大学大学院 社会システム工学コース)

国土交通大臣賞 作品



森重和久 ほか3名(株)ジイケイ設計 大阪事務所)
課題地区 兵庫県姫路市姫路駅周辺地区(約27ha)